製　品　安　全　データシート（ＭＳＤＳ）

１，製品及び会社情報

製品名　　Ｒ＆Ｓ　タイヤキーパー
会社名　　アイ・タック技研株式会社
住所　　愛知県大府市吉川町４－１７
担当部門　　技術開発センター
電話番号　　０５６２（４５）５２５８
FAX 番号　　０５６２（４５）５２６８
奨励用途及び使用上の制限　　自動車用タイヤワックス
作成日　　２０１４年4月３日
改正日
整理番号　　Ｒ－２０１４－９
改正番号

２，危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

可燃性／引火性エアゾール
引火性液体
急性毒性（経口）　　区分５
急性毒性（吸入）
皮膚腐食性／刺激性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　区分２－Ｂ
呼吸器感作性
生殖細胞変異原性
発ガン性
生殖毒性
標的臓器／全身毒性（単回暴露）
標的臓器／全身毒性（反覆暴露）
吸引性呼吸器有害性　　区分２
水中環境有害性（急性）
水中環境有害性（慢性）

※記載のないものは分類対象外又は分類できない

ＧＨＳラベル要素

シンボル

感嘆符

注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ
眼への刺激性
飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ

３，組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

・混合物

成分名／化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化学式	化審法 ※１	PRTR法 ※２	毒劇物 ※３	安衛法 ※４
ｼﾘｺｰﾝｵｲﾙ	30-40	63148-62-9		(7)476	非該当	非該当	非該当
乳化剤	1-2	非公開		既存	非該当	非該当	非該当
水	60-70						

※１　化審法　官報公示整理番号（化審法）
※２　ＰＲＴＲ法報告物質
※３　毒物および劇物取締法
※４　労働安全衛生法
　　有機溶剤中毒予防規制

４，応急処置

大量に吸入した場合

・吸入して気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・気分の戻らないときは、医師の診断を受けること。
・呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。
・眠気やめまいの症状が出た場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態で休息させる。
・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること

皮膚に付着した場合

・毒性・刺激性はほとんどないが、液が付着した場合は、下記のような処置を行う。
・直ちに水で洗い流し、石鹸で液が付着した所を良く洗うこと。
・衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹸で良く洗うこと。
・皮膚刺激又は手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合

・清浄な水で最低１５分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。
・コンタクトレンズを使用いている場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

・直ちに水で口の中を洗浄する。
・直ちに医師の診断を受けること。
・無理に吐かせないこと。
・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

最も重要な兆候及び症状

・特になし

応急措置をする者の保護

・特になし

医師に対する特別注意事項

・特になし

５，火災時の措置

消火剤

・粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

・冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性

・燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法

・消火作業は、可能な限り風上から行う。
・関係者以外は安全な場所に退去させる。
・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

・消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。
・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入をさける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

６，漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣を着用すること。
・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
・風上から作業し、風下の人を退避させる。
・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
・こぼれた場合はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和

・少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。
・大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止法

・漏出時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7，取扱い上の注意

取扱

技術的対策

・使用前に取扱説明書を入手すること。
・製品記載の使用上の注意をよく読み、用途以外に使用しないこと。

保管

適切な保管条件

・製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
・容器を密栓すること。

安全な容器包装材料

・特になし。

8，暴露防止及び保護措置

設備対策

・蒸気又は煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

・屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

記載の無いものは、知見なし、あるいはデータなし。

成分名	管理濃度/ppm	許容濃度/ppm（日本産業衛生学会）	許容濃度/ppm（ACGIH）

保護具

呼吸器の保護具

・保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、有機溶剤の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

・保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋を着用すること。

・必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。

目の保護具

・保護眼鏡（普通眼鏡型)、必要に応じてゴーグル型、保護面等を着用すること。

9，物理的及び化学的性質

外観	: 白色液体
臭い	: なし
ｐＨ	: 7.5～8.5
融点／凝固点	:
沸点，初留点と沸騰範囲	: 100℃
引火点	:
自然発火温度（発火点）	:

燃焼性	:
燃焼又は爆発範囲、下限、上限	:
蒸気圧	:
蒸気密度	:
蒸発速度	:
比重	: 0.99
溶解性	: 乳化（水溶性）
オクタノール／水分配係数	:
分解温度	:
その他のデータ	:

１０，安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

・通常の取り扱いでは安定である。

危険有害反応性の可能性

・特になし

避けるべき条件

・特になし

混合危険性物質

・特になし

危険有害な分解生成物　・特になし

その他　・特になし

１１，有害性情報

製品全体としての有害性情報

記載のないものは、ＧＨＳ分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

個々の成分の有害性情報

記載のないものは、ＧＨＳ分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

１２，環境影響情報

製品全体としての有害性情報

記載のないものは、ＧＨＳ分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

個々の成分の有害性情報

記載のないものは、ＧＨＳ分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

１３，廃棄上の注意

・内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

１４，輸送上の注意

国際規制

国連分類　　非該当

国連番号　　非該当

国内規制

容器イエローラベル　非該当

積載方法　　非該当

混載禁止　　非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

・容器の破損、漏れがないことを確かめる。
・荷くずれ防止を確実に行う。
・該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
・直射日光を避ける。
・水漏れ厳禁、横積み厳禁
・夏場の輸送時に於いては熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
・輸送容器は衝撃を与えないように、丁寧に取り扱う。転倒したり激突させたりしない。

１５，適用法令

火薬類取締法

対象外

高圧ガス保安法

対象外

消防法（　　）内は、指定数量

非危険物

毒物及び劇物取締法（毒劇物取締法）

非該当

労働安全衛生法

非該当

労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則）

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法（ＰＲＴＲ法）　　非該当

１６，その他の情報

参考文献

化学物質等安全データシート（ＭＳＤＳ）－第１部
内容及び項目の順序　ＪＩＳ　Ｚ７２５０：２００５

ＧＨＳ分類結果データベース
独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ
ＪＡＣＡ（日本オートケミカル工業会）編集：化学物質データベース
オートケミカル製品の為のＭＳＤＳ作成指針改定版（ＪＡＣＡ）
危険物船舶運送及び貯蔵規則　（海文堂）
産業中毒便覧　（医歯薬出版株式会社）

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確

保する為の参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。